

様式 1

令和 7 年度学長戦略経費（研究プロジェクト）実績報告書（研究実績）

1 研究課題名

教育実習指導を通して学び続ける教師
—管理職，教育実習生との相互作用から得られるものとは—

2 研究代表者

釧路校・教授・半澤礼之

3 研究分担者・研究協力者

釧路校・教授，副学長・越川茂樹
釧路校・准教授・星裕
釧路校・准教授・田中雅子
釧路校，学校臨床心理専攻・准教授・浅井継悟
全て研究分担者

4 令和 7 年度研究計画の達成度

- a 計画とおり達成した
 b 概ね達成した
 c あまり達成できなかった
 d 全く達成できなかった

【c 又は d を選択した場合の理由や問題点】

5 学術的成果

【論文投稿】

- 星裕・田中雅子・半澤礼之・浅井継悟・越川茂樹（2026）. 教育実習指導を通じた教育実習指導教員の教師教育者としての変容—附属小学校教員へのインタビュー記録の質的分析— 日本教育支援協働学研究, 7, 23-35.

【書籍出版】

【学会発表】

【その他】

6 実践的成果

【教材】

【評価方法】

【指導（授業）案】

【教育方法】

【その他】

7 その他、研究実施状況

■ 調査実施状況

2025年12月～2026年1月に教育実習指導教員の学びと成長にかかわる質問紙調査を北海道(札幌を除く)の小学校・中学校の教員に対して実施。808名から回答を得た。現在分析中。

■ 学内打ち合わせ実施状況

2025年12月17日

議題

1. へき地・小規模校の先生方に対する研究の進捗報告
 - ・インタビュー結果について議論をおこなった。今後分析を進め、2026年5月の論文投稿を目指すことが確認された。
2. 特別支援学校の先生方に対する研究の進捗報告
 - ・現在、分析を行なっている最中とのことであった。
3. 成果物の作成スケジュールと原案の検討について。
 - ・2026年度の刊行に向けてスケジュールの確認を行い、原案を検討した。

2026年1月23日

議題

1. 2025年度調査の報告
 - ・2025年度調査の結果について報告が行われた。それをもとに、分析の方向性や次年度以降の調査に関する議論を行った。

2. 道教委への説明とリーフレットの作成について

- 北海道教育委員会での打ち合わせ内容について確認をおこなった。
- 成果物であるリーフレット案についての説明と、それについて議論が行われた。
- リーフレットの体裁や配布方法について検討を行った。

■ 北海道教育委員会との打ち合わせ実施状況

2026年2月10日

- プロジェクト成果物であるリーフレットの原案について意見交換が行われた。